

施 工 実 績 等 評 価 資 料

工 事 名 :

商号又は名称 :

1 企業の施工実績について

工 事 概 要 等	発注者名		
	工 事 名		
	請負金額	円	(円)
	工 期	年 月 日 ~	年 月 日
	受注形態		
	工事概要		
	CORINS登録番号		

2 配置予定技術者の施工経験について

配 置 予 定 技 術 者	区分	現場代理人	監理 ・ 主任技術者
	氏名		
	女性又は若手		
	建設工事に必要な 免許・資格		
	監理技術者資格者 証番号		
同 種 又 は 類 似 工 事 の 施 工 経 験	企業の施工実績と 同じ工事	☐ ※チェックをした場合は下記の「同種又は類似工事の 施工経験」は記入不要	☐ ※チェックをした場合は下記の「同種又は類似工事の 施工経験」は記入不要
	発注者名		
	工事名		
	請負金額		
	工期	年 月 日 ~	年 月 日
	従事役職		
	工事概要		
	CORINS登録番号		
申 請 時 従 に お け る 等 他 工 事 の	発注者名		
	工事名		
	請負金額	円	円
	工期	年 月 日 ~	年 月 日
	従事役職		
	本工事と重複する 場合の対応措置		
	CORINS登録番号		

(裏面に注意書きあり)

(注)

(共通)

- 1 記載する同種工事の件数は1件でよい。
なお、企業の施工実績の工事と技術者の施工経験のある工事は、同一でなくてもよい。
- 2 当該評価項目について実績、経験、女性又は若手技術者を有しない場合は、本書の提出を要しない。
- 3 工事概要は、評価基準に該当する工事であることが確認できるように記載すること。
- 4 当該工事のCORINSの写し（当該工事内容の掲載がない場合は発注図書等の写しを含む。）を添付すること。なお、CORINSの写しの評価対象の項目（施工延長、面積、技術者氏名等）の該当箇所を下線等で示すこと。
- 5 共同企業体としての実績又は経験の場合は、出資比率20%以上のものに限る。

(企業の施工実績について)

- 6 請負金額は、共同企業体の場合は全体額を記載すること。

(技術者の施工経験について)

- 7 本工事に主任技術者又は監理技術者及び現場代理人として配置する予定の技術者（以下「技術者」という。）について作成すること。なお、本資料を作成にあたり、「主任技術者又は監理技術者」と「現場代理人」の兼任の申請は可能であるが、開札の結果、低入札価格調査制度の調査を受け契約を締結にする場合には「主任技術者又は監理技術者」と「現場代理人」の兼任は認められないので、留意すること。
- 8 国家資格者等にあつては、当該資格証明書等の写しを添付すること。また、監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証の写しを添付すること。
- 9 技術者の施工経験のある工事が企業の施工実績の工事と同一の場合は「企業の施工実績と同じ」欄の□にチェックをし、工事内容については記載を省略することができる。
- 10 実際の工事の施工に当たって、種々の状況からやむを得ないものとして発注者が承諾した場合のほかは、本書に記載した技術者以外の者への変更は認めない。
- 11 技術者について引き続き3月以上の雇用関係が確認できる第三者機関が発行した書類の写し（技術者の氏名、資格取得年月日及び事業所名が明記されているもの）を添付すること。また、提出時には個人情報保護の観点から確認事項以外をマスキングすること。
(例)・健康保険被保険者証（全国健康保険協会又は健康保険組合発行のもの）
※国民健康保険被保険者証、後期高齢者医療被保険者証、マイナンバーカードは不可
・雇用保険被保険者資格取得等確認通知書
・監理技術者証
・その他必要事項の確認ができるもの

(他工事の従事状況について)

- 12 本書の提出日現在における他工事の従事状況は、従事しているすべての工事について記載すること。
複数ある場合は、本書を従事工事数分作成すること。